

地域おこし協力隊活動報告

平成30年4月から9月までの半年間の活動を報告します。

2年目の隊員として今年の目標は、前年の経験を活かして効率よく作業できるようになることです。前年に続き(有)ファームみなみの郷さんで農業研修をしながら、五泉のイベントに参加したり、五泉市外の農業研修に参加したりしました。今年から畑を借りて、自分の農場である田口農園で野菜を作り、販売をしたりしました。

農業研修

今年から2年目になり前年の経験を活かし、効率よく農作業を行えるよう作業しました。

① 里芋作業

- ・ マルチ(ビニール)掛け作業ではスコップで端の部分に土をかぶせます。去年は腕の力だけで土を掘っていましたが、スコップの柄の部分に膝の部分に固定して足を力で土を掘って体力を温存し、早く作業できるようになりました。
- ・ 芽だし作業では芽がビニールに突っ掛って焼けないように、芽をビニールから出します。去年はしゃがんで作業していましたが、しゃがんだり立ったりを繰り返して激しい筋肉痛に悩まされました。今年はひざを伸ばした状態でしゃがまずに作業しました。腰に負担が掛かりましたが、去年のような激しい筋肉痛はならずすみ、作業自体も速くできました。



② 稲作業

去年は主に社員の補助作業をしましたが、今年は本格的に作業を行いました。

- ・ 穂肥や除草剤散布作業では去年は社員のタンクに穂肥や除草剤を積める補助を行い、社員の作業を見学してたまにタンクを担いで実際に作業する程度でしたが、今年は本格的にタンクを担いで作業しました。見ているのと作業するでは全然違い、穂肥は肥料ごとに散布する量が異なるので、肥料の散布するペースはまだまだ経験を積みなければならないと感じました。
- ・ 今年は田植えを田圃1枚まるまる植えました。右の写真のようにずれたりもしましたが、来年は綺麗に田植えが出来るようになるのが課題です。
- ・ 稲作業はまだ改善の余地があるので、来年は効率よく作業できなくてはと思います。



- ③ (有)ファームみなみの郷さんの社長の紹介で、他の農家さんでサツマイモの定植やジャガイモの収穫などを体験しました。サツマイモの苗を素早く植えるベテランの技や、ジャガイモの掘り起こす機械など勉強になりました。写真は定植したサツマイモの苗です。



田口農園

勉強の為、(有)ファームみなみの郷さんの農地を借りて自分の農園を作りました。

- ・ 測量から施肥設計、作付計画などすべて自分で考えました。
- ・ 作付野菜は五泉の特産品である里芋と長ネギ、他に枝豆、中玉トマト、ミニトマト、甘唐辛子です。
- ・ 枝豆と長ネギは直売に出荷できる量を作付しました。枝豆は8月に直売に出荷しました。長ネギは冬に出荷予定です。
- ・ 他の野菜は勉強の為、少量生産して自分で食べたり、実家に送ったりしました。味は問題なかったなので、来年は出荷できればと思います。
- ・ 7月半ばから8月にかけて雨がほとんど降らず、水不足対策でU字溝から水を引くため、圃場内で鍬をつかって水路を作り野菜に水を供給する作業をおこないました。タンクに水を積んで水やりをしても焼け石に水状態でした。



～この半年を振り返りと今後の目標～

- ・ 今年は7月半ばから8月にかけて雨があまり降らず、水やり作業に時間を取られて他の作業に時間がかかりました。
- ・ 農地によって土質が違うので、その土質にあった肥料や作付を考えなければと学びました。
- ・ これから秋冬野菜の収穫があり、去年担当した大根を今年も担当することになりました。去年よりも効率よく収穫調整できるようになります。
- ・ 一年目の冬はまれにみる大雪で公用車をスタックさせたり大変でしたが、あわてず安全確認を行い、事故や怪我のないように気をつけて頑張ります。
- ・ 新規就農に向けて先輩農家さんの話を伺ったり、見学をしたいと思います。